

双葉駅西地区街並みガイドライン (西エリア編)

令和7年9月 双葉町

双葉駅西地区街並みガイドライン（西エリア編）

1. エリア別のデザイン方針

1-1. 駅西地区における公共空間（道路・河川）のデザイン方針

3

1-2. 西エリアのデザイン方針

4

2. 用途分類別のデザイン方針

2-1. 住宅のデザイン方針（戸建て・集合住宅）

5

2-2. 商業・業務施設のデザイン方針

6

【参考】 駅西住宅エリア（整備済）のデザイン方針

8

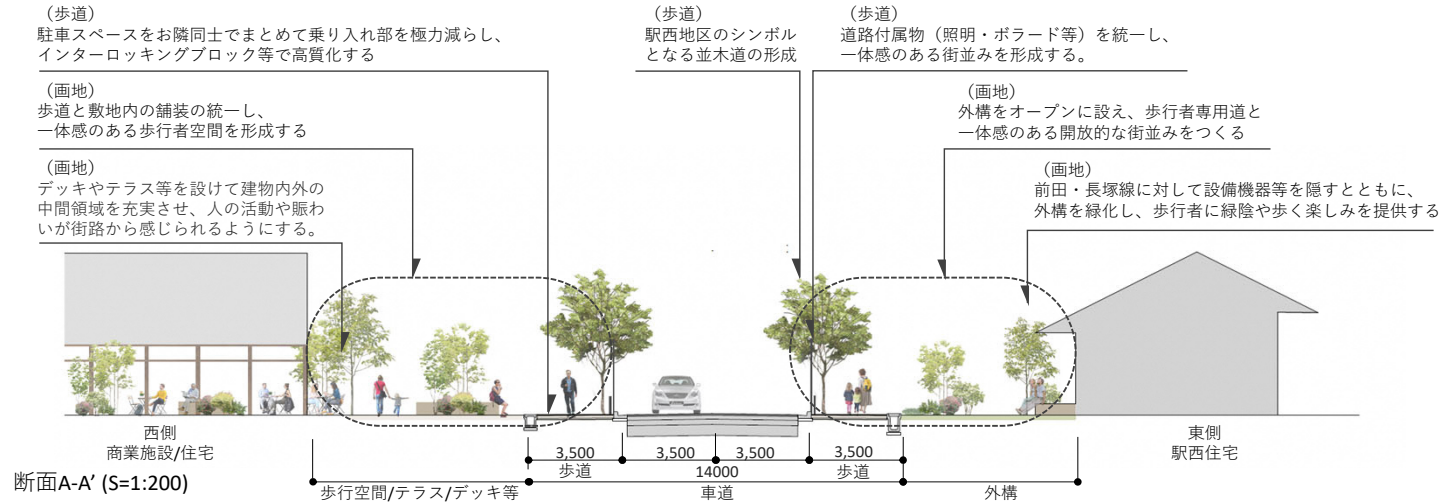
1-1. 駅西地区における公共空間（道路・河川）のデザイン方針

公共空間の詳細の設計内容は要調整
検討の進捗に応じて変更の可能性があります。

【まちの骨格（※）】 前田・長塚線の デザイン方針

駅西地区を南北に貫く日常的な生活動線かつ学校教育施設への通学路として、歩行者空間の整備や沿道の街並みの誘導を通して街並み、駅西地区の中心となる街路の形成をはかる。

※駅東・駅西地区では、公共・商業・居住機能の複合的な導入により生活機能を充実させた「まちの拠点」および、拠点間をつなぎ地区の主要なウォークアブル動線となる「まちの骨格」を整備し、「まちの拠点」「まちの骨格」を中心に市街地形成を推進することを検討しています。



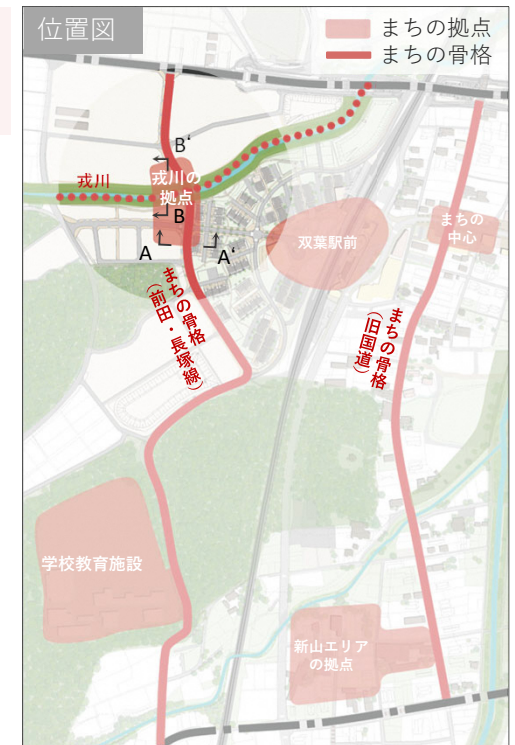
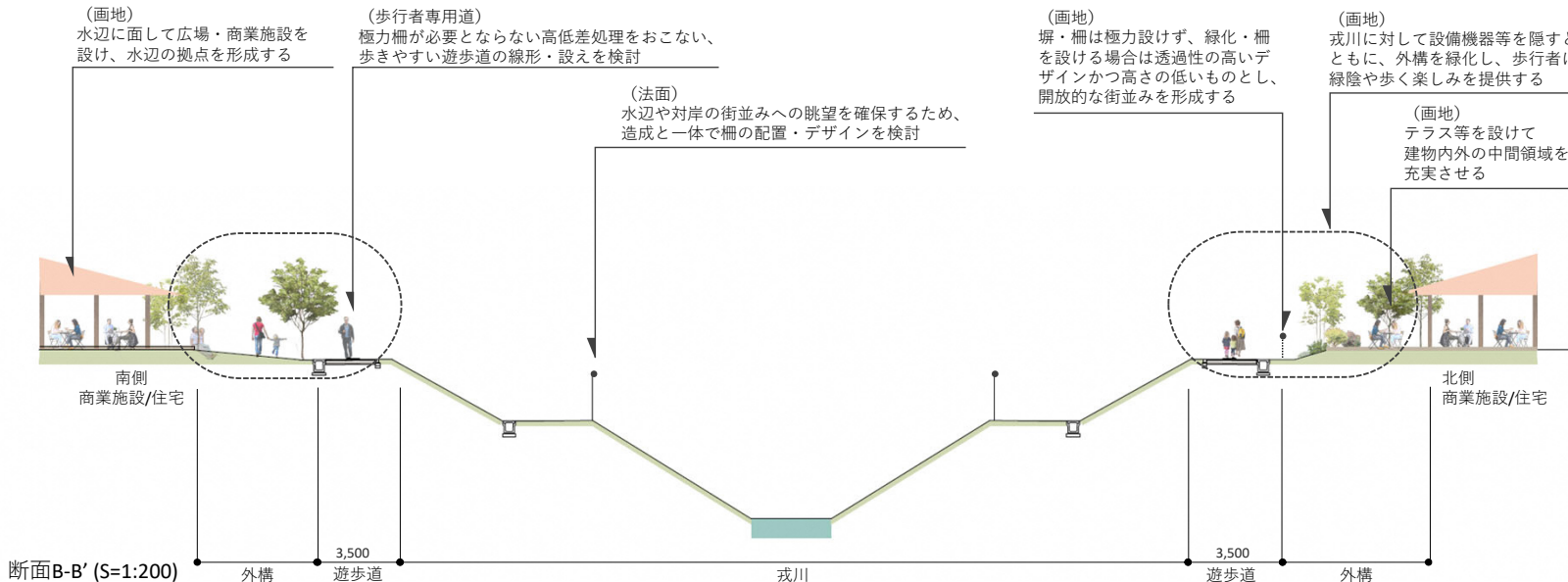
前田・長塚線の現況（2025年8月撮影）



戎川の現況（2025年8月撮影）

【その他公共空間】 戎川沿いの デザイン方針

各エリアからのアクセス性を考慮し、水辺の眺望を生かした遊歩道の整備や街並みの誘導等、水辺の自然環境を生かした住環境の質の向上をはかる。



1-2. 西エリアのデザイン方針

まちの拠点※のデザイン方針

※駅東・駅西地区では、公共・商業・居住機能の複合的な導入により生活機能を充実させた「まちの拠点」および、拠点間をつなぎ地区の主要なウォークアブル動線となる「まちの骨格」を整備し、「まちの拠点」「まちの骨格」を中心に市街地形成を推進することを検討しています。

A-1 戎川に隣接する前田・長塚線沿い

- 戎川に隣接する前田・長塚線沿いでは、河川空間と一体となった商業施設の導入に努めてください。
- 建物のデザインについては、駅西住宅との連続性を考慮して低彩度の色彩とし、駅西住宅と親和性の高いデザインとしてください。

A-2 双葉駅～西エリアをつなぐ通りと前田・長塚線の交差点に面する角地

- 2つの幹線道路に面する立地特性を活かして、建物1階への商業施設の導入に努めてください。
- 建物のデザインについてはまちの拠点にふさわしいアイストップとなるデザインとしてください。また、駅西住宅との連続性を考慮して建物高さは3階建て以下、低彩度の色彩とし、駅西住宅と親和性の高いデザインとしてください。
- 建物の壁面は道路から2m以上セットバックするとともに、歩道と沿道建物の外構、及び誘導される商業施設が一体となった気持の良い歩行者空間を形成してください。
- 車の乗り入れは集約・配置し、駐車場は裏側に配置するように工夫して道路から駐車場が見えないようにしてください。

街並みのデザイン方針

B 戎川沿いの住宅地

- 戎川には建物の北面が接するため、一般的に開口部の少ない味気ない街並みになりやすいため注意が必要です。建物の間取りやデザインを工夫したり、水辺空間を楽しめる大きな開口部を設けたり、デッキ・テラスを設けたりすることで、歩いて楽しい空間形成に努めてください。

C 駅～西エリアをつなぐ通り沿いの住宅地

- 道路と宅地との高低差は、法面をそのまま活用することとし、無暗にブロック積擁壁等の使用することは控え、歩道と一体的となったオープン外構としてください。
- 北入り宅地・南入り宅地ともに、駐車場脇の玄関周りにはシンボルツリーを植樹するとともに、積極的に外構を緑化し、歩行者が気持ちよく歩ける緑豊かな通りを形成してください。
- 北入り宅地については、建物の位置を道路から1.5m以上セットバックさせて緑化に努めてください。一般的に開口部の少ない味気ない街並みになりやすい傾向にあります。玄関周りの緑化とともに、間取りや開口部のデザインを工夫して通りの表情を豊かにするよう工夫してください。

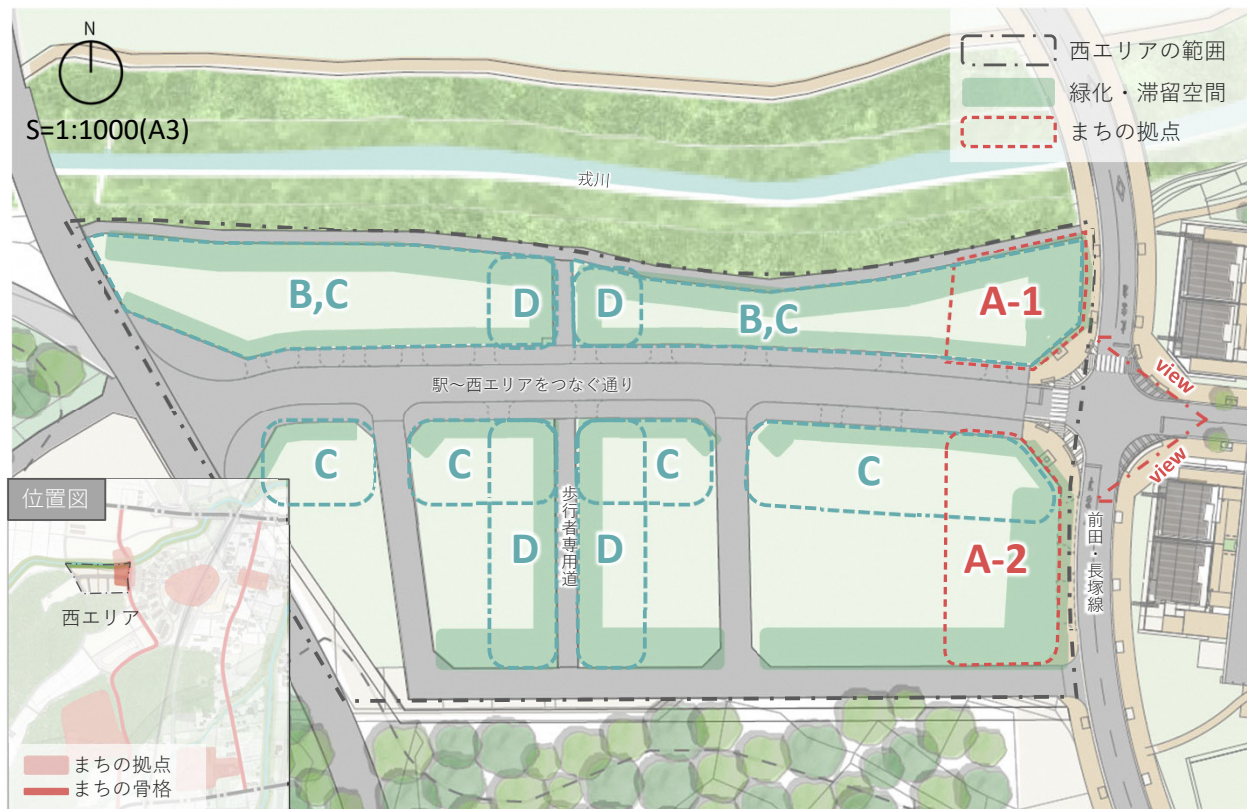
D 歩行者専用道沿いの住宅地

- 沿道の宅地を積極的に緑化するとともに、歩行者専用道と宅地を接続する動線を確保し、歩行者専用道をコミュニティ形成の媒体として積極的に活用してください。

E その他の区画道路沿いの住宅地

- 西入り、東入り宅地ともに、道路から建物の壁面を2m以上セットバックし、玄関周りにはシンボルツリーを植樹し、外構の緑化に努めて、緑豊かな通りを形成してください。

※集合住宅を計画する場合は、建物高さは3階建て以下とします。また駐車場は街並みを分断しないよう極力まとめるとともに植栽等によりできるだけ通りから見えにくいように配慮してください。



街並みデザイン方針のイメージ図



A-1 川沿いの商業施設・植栽帯・デッキ・柵のイメージ



A-2 道路沿いの商業施設・植栽帯・デッキ・テラスのイメージ

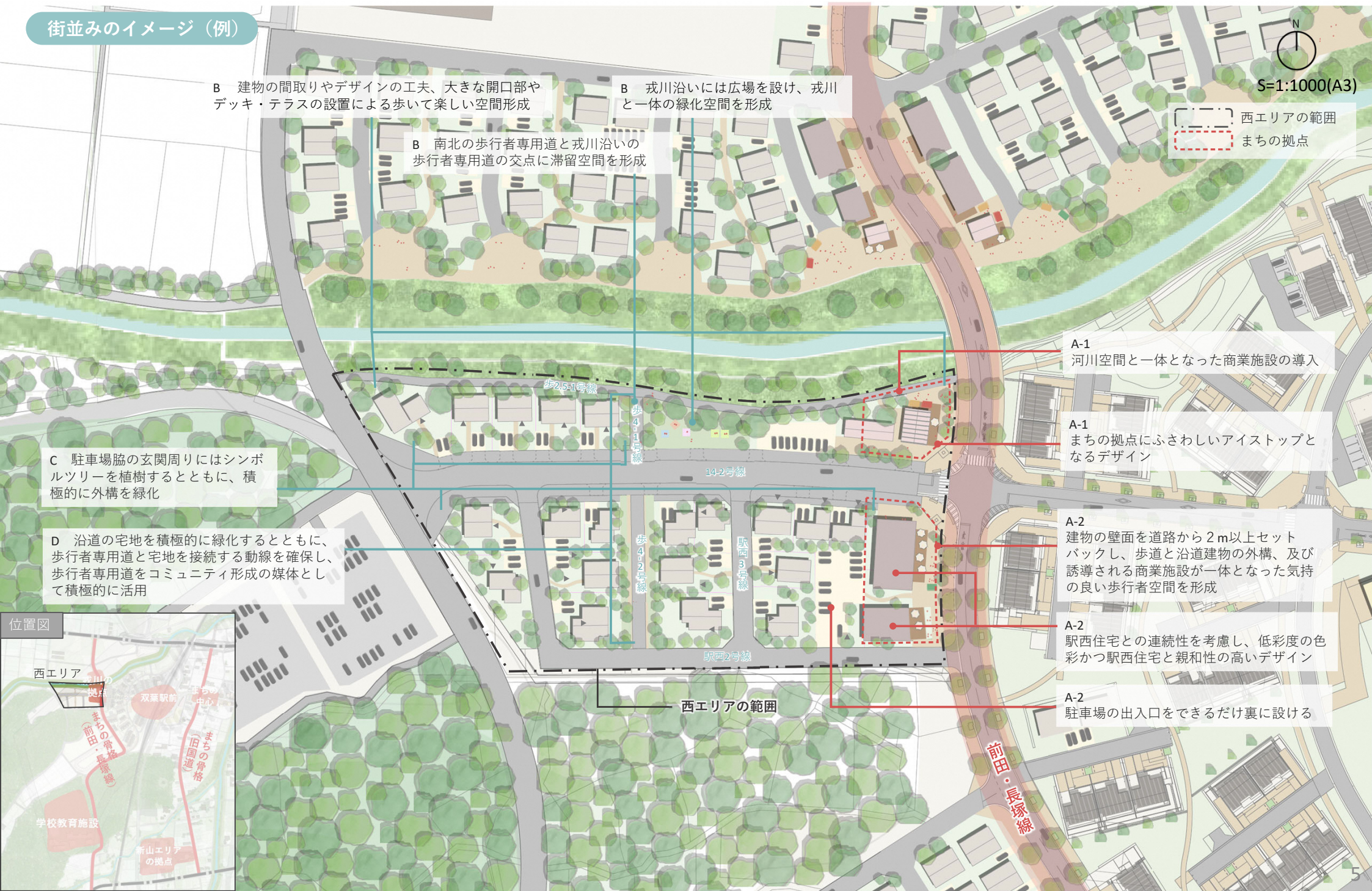


B, C, D, E 緑豊かな外構のイメージ



1-2. 西エリアのデザイン方針

街並みのイメージ（例）



2ー1. 住宅の街並みデザイン誘導方針（戸建て・集合住宅）

・ 住宅（戸建て・集合住宅）の街並みデザイン誘導方針を以下に示す。

	住宅タイプ	適用箇所	街並みデザイン誘導方針
配置・住宅タイプ	－	駅西地区全域	・ 戎川や谷戸の緑への眺望に配慮し、周辺の建物がつくる街並みのスカイラインとの調和を図ってください。 ・ 戸建住宅・集合住宅およびそのミックスを可とします。
高さ・用途	戸建	駅西地区全域	・ 2階以下（10m以下）としてください。
	集合住宅	戎川の拠点	・ 3階以下（15m以下）とし、1階には店舗等、駅西地区の生活利便の向上に資する機能の誘致に努めてください。
		それ以外	・ 3階以下（10m以下）としてください。
屋根形状	共通	駅西地区全域	・ 2階以下の場合はできるだけ勾配屋根としてください。
壁面・屋根の色彩と素材	共通	前田・長塚線沿い	・ 駅西住宅の色彩や素材を考慮し、周辺の緑や街並みに調和する低彩度（彩度2以下）の色調を基本としてください。 ・ 自然素材等、周辺の街並みになじむ素材を活用してください。
		それ以外	・ 現在の双葉町にある色彩や素材を考慮し、周辺の緑や街並みに調和する低彩度の色調を基本としてください。 ・ 自然素材等、周辺の街並みになじむ素材を活用してください。
壁面後退	共通	駅西地区全域	・ 道路から1.5m程度セットバックし、建物と道路の間は緑化をおこなってください。隣接する建物との位置関係に配慮し、街並みが連続するようにしてください。
		前田・長塚線沿い 戎川沿い エリア内の歩行者専用道沿い	・ 前田・長塚線や戎川沿いに植栽帯やデッキ・テラスを設け、前田・長塚線や戎川沿いの歩道およびエリア内の歩行者専用道と一体的な歩行者空間を形成してください。
	集合住宅	戎川の拠点	・ 壁面を2m以上敷地境界からセットバックしてください。
敷地外構	共通	駅西地区全域	・ 外構は道路に対して開いた設えとし、中高木や地被等で緑化することで、開放的で一体感のある街並みをつくってください。 ・ 縁側デッキ等を設けたり、シンボルとなるような中高木や花木を植えたりすることで、室内外の中間領域を豊かにしてください。 ・ 交差点に面する箇所は中高木植栽による緑化をおこない、街並みのアイストップをつくってください。

	住宅タイプ	適用箇所	街並みデザイン誘導方針
塀・柵	共通	駅西地区全域	・ 塀・柵はできるだけ設けず、外構をオープンにしてください。 ・ 塀・柵を設ける場合は、生垣または開放的で透過性の高いデザインの塀・柵としてください。低彩度の色彩、高さh=80cm以下を基本としてください。 ・ お隣と相談することで、敷地境界の柵を無くすまたは、片側のみに設置するなど、無機質な塀や柵が乱立しないようにしてください。 ・ 公園・緑地や歩行者専用道の境界に柵を設ける場合は、敷地境界線からセットバックし、道路側を緑化してください。
附属設備	共通	駅西地区全域	・ 物置や室外機、ガスや電気のメーターボックスは、道路側の目につきやすい場所には設置しないようにしてください。 ・ 建築付帯設備はグレー（無彩色）や低彩度の色彩を基調としてください。 ・ 道路に面する場所に設置する場合には、塀・柵または植栽により目隠しをおこなってください。
駐車場	共通	駅西地区全域	・ 緑化や自然素材の舗装をおこなうことで、街並みの印象をやわらかくしてください。
	集合住宅	駅西地区全域	・ 駐車場の出入口をできるだけ裏に設け、道路から駐車場が見えないようにしてください。 ・ 駐車場と道路の間には植栽帯を設けてください。
照明	共通	駅西地区全域	・ 色温度を3000K以下としてください。 ・ 道路沿いには門灯や庭園灯を設け、夜間景観を魅力的にすることを推奨します。
看板	共通	駅西地区全域	・ 屋外広告物を設置する場合は色・位置に配慮してください。
のり面・擁壁	共通	駅西地区全域	・ 法面にはできるだけ擁壁をつくらず、緑化をおこなうことで街並みの表情をやわらげるようにしてください。 ・ 擁壁を設ける場合は、セットバックさせて道路側を緑化することで、圧迫感を和らげてください。



緑豊かな住宅のイメージ

2-2. 商業・業務施設の街並みデザイン誘導方針

・ 商業・業務施設の街並みデザイン誘導方針を以下に示す。

	適用箇所	街並みデザイン誘導方針
配置・規模	駅西地区全域	・ 戎川や谷戸の緑への眺望に配慮し、周辺の建物がつくる街並みのスカイラインとの調和を図ってください。
高さ	まちの拠点	・ 3階以下（15m以下）としてください。
	それ以外	・ 2階以下（10m以下）としてください。
屋根形状	駅西地区全域	・ 2階以下の場合ではできるだけ勾配屋根としてください。
壁面・屋根の色彩と素材	駅西地区全域	・ 現在の双葉町にある色彩や素材を考慮し、周辺の緑や街並みに調和する低彩度の色調を基本としてください。 ・ 道路に対して開口部を設け、商業施設内の様子が感じ取れるようにしてください。 ・ 自然素材等、周辺の街並みになじむ素材を活用してください。
	前田・長塚線沿い	・ 駅西住宅の色彩や素材を考慮し、周辺の緑や街並みに調和する低彩度（彩度2以下）の色調を基本としてください。
壁面後退	駅西地区全域	・ 道路から1.5m程度セットバックし、建物と道路の間は緑化をおこなってください。隣接する建物との位置関係に配慮し、街並みが連続するようにしてください。
	前田・長塚線沿い 戎川沿い エリア内の歩行者専用道沿い	・ 前田・長塚線や戎川沿いに植栽帯やデッキ・テラスを設け、前田・長塚線や戎川沿いの歩道およびエリア内の歩行者専用道と一体的な歩行者空間を形成してください。
	戎川の拠点	・ 壁面を2m以上敷地境界からセットバックしてください。
敷地外構	駅西地区全域	・ 前面道路側には、1階部分に広く開口を設け、店舗の内部が良く見えるようにし、店先空間（テラス、軒下等）を設けることで、立ち寄りやすい雰囲気をつくってください。 ・ 前面道路側には、自動販売機・地上設備等の障害物を設けないようにしてください。 ・ 敷地内に通路や広場をつくることを検討してください。 ・ 前面道路側に高低差がある場合には、階段状のテラスや法面の緑化などにより、高低差を利用した魅力的な店先をつくってください。
塀・柵	駅西地区全域	・ 塀・柵はできるだけ設けず、外構をオープンにしてください。 ・ 塀・柵を設ける場合は、生垣または開放的で透過性の高いデザインの塀・柵としてください。低彩度の色彩、高さh=80cm以下を基本としてください。 ・ お隣と相談することで、敷地境界の柵を無くすまたは、片側のみに設置するなど、無機質な塀や柵が乱立しないようにしてください。 ・ 公園・緑地や歩行者専用道の境界に柵を設ける場合は、敷地境界線からセットバックし、道路側を緑化してください。

	適用箇所	街並みデザイン誘導方針
附属設備	駅西地区全域	・ 附属設備は、道路側の目につきやすい場所には設置しないようにしてください。 ・ 建築付帯設備はグレー（無彩色）や低彩度の色彩を基調としてください。 ・ 道路に面する場所に設置する場合には、塀・柵または植栽により目隠しをおこなってください。
駐車場	駅西地区全域	・ 緑化や自然素材の舗装をおこなうことで、街並みの印象を柔らかくしてください。
	前田・長塚線沿い 戎川沿い エリア内の歩行者専用道沿い	・ 駐車場の出入口をできるだけ裏に設け、道路から駐車場が見えないようにしてください。 ・ 駐車場と道路の間には植栽帯を設けてください。
照明	駅西地区全域	・ 色温度を3000K以下としてください。 ・ 敷地内照明を設け、夜間景観を魅力的にすることを推奨します。
看板	駅西地区全域	・ 建物の上部に突出させることは避け、2階部分に掲出する場合は壁面と一体的にデザインしてください。 ・ 複数の店舗がある場合は集合看板を設けて、野立看板が乱立しないようにしてください。 ・ 看板・広告物は、素材の色彩や質感を生かしたものとし、色彩は低彩度のものを基本としてください。 ・ のぼり旗や路上の置き広告は景観に配慮した色彩・デザインのものにしてください。
のり面・擁壁	駅西地区全域	・ 法面にはできるだけ擁壁をつくらず、緑化をおこなうことで街並みの表情をやわらげるようにしてください。 ・ 擁壁を設ける場合は、セットバックさせて道路側を緑化することで、圧迫感を和らげてください。



屋外に開いた商業施設のイメージ

【参考】 駅西住宅エリア（整備済）のデザイン方針

過去の双葉町の住宅状況と駅西住宅が整備された駅西住宅エリアの状況を整理した。

■震災前の双葉町の街並み

- 特徴
- 勾配屋根の2階建ての戸建てが中心の街並みが形成されていた。
 - 旧国道沿いについては、震災前に長塚・新山の両商店街が発達して商店が軒を連ね、間口の狭い2階建てを中心とした街並みが形成されていた。



■駅西住宅エリアの現況

●戒川沿いの緑地、川辺の集会所、遊歩道

- 特徴
- 戒川沿いに川面に直接つながるまとまった緑地の中に、ベンチ・遊歩道を整備。
 - 遊歩道の先には川辺の集会所を整備。



●双葉駅から西エリアへ向かう街路、前田・長塚線

- 特徴
- 車道・歩道ともにインターロッキングブロック舗装。
 - 街路樹・照明柱が整備されており、無電柱化がこなわれている。
 - 切妻屋根の妻側が街路から見える方向で建物が配置されている。



●駅西住宅（設計：ブルースタジオ・パシフィックコンサルタンツ設計共同体）※ R6.5竣工

- コンセプト：くらしのシーンを共有できる「なりわい住宅」
- かつての農家のようにパブリックな空間である道路や通路に対して開くことができる「中間領域＝土間」をもつ住宅

戸建住宅：帰還者向け



- 1LDKタイプ(18戸)
- 2LDKタイプ(12戸)



タウンハウス：移住者向け



- 3DKタイプ(44戸)：80㎡
- 1DKタイプ(12戸)：40㎡

特徴

オープンな外構



駐車スペースの高質化



中間領域の充実



●駅西住宅エリア平面図

